

HP: <https://rakuno.org/>

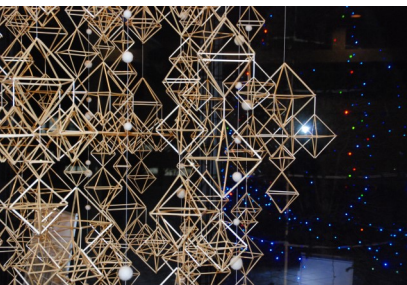
同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック (スケジュール)

11月20日 貴農同志会懇話会
11月22/23 大学推薦入試日
11月23日 佐藤元昭先生を偲ぶ会
11月25日 短大Ⅱコース13期生同期会
11月26日 機農高校酪経5期生同期会
12月13日 機農高校24期生同期会
12月25日 学園クリスマス礼拝祝会
01月07日 緑風会総会交流会
01月17/18 大学入学共通テスト
02月04/05 大学1期学力入学試験
02月17日 高校一般入学試験
02月22日 石狩地区千歳支部総会
02月28日 高校卒業式
03月03日 大学2期学力入学試験
03月07日 中部地区愛知県支部総会
03月19日 大学学位記授与式



目次:

中国地区鳥取県支部総会報告	1
一つ屋根の下同窓会開催報告	2
創世寮OB会(2004～2006有志)報告	2
附属高校酪農経営科24期生同期会	2
坂本先生卒寿お祝いの集い報告	2
獣医9期生50周年同期会報告	3
短期大学Ⅱコース13期生同期会報告	3
26緑風会総会・講演会・懇親会報告	4
編集後記	4

中国地区鳥取県支部総会報告



令和7年11月15日(土)午後7時より倉吉市の「セントパレス倉吉」を会場に令和7年度鳥取県支部総会が12名の出席により開催されました。来賓として本学より岩野英和学長、同窓会本部より中出哲也副会長、荒嶋弥寿夫同窓会中国地区会長に出席頂いた。

総会は山根法明事務所の司会で進行し、門脇文生支部長の歓迎の挨拶で開会した。会則に基づき門脇支部長が議長となり議事を進めた。

第1号議案として令和6年度事業報告及び会計報告が資料に基づき事務局より説明し、拍手によって承認された。第2号議案として令和7年度事業計画が説明され同様に承認された。第3号議案のその他は意見がなく総会議事が終了した。

次に岩野学長より来賓挨拶に続き学園の近況及び動向の報告が行われ、大学の厳しい状況を知るとともに校名変更について意見交換をした。

その後、同会場にて中出同窓会副会長による乾杯の挨拶で懇親会が行われた。今年も同窓生が出席し和やかな歓談が続き、「酪農讃歌」を全員で合唱、記念撮影を行った。最後に荒嶋同窓会中国地区会長の閉会挨拶で終了した。(文責 事務局 山根法明)

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2025.04.01

2024年度 累計卒業生数

大学院 計	1,778名
大学 計	34,987名
短大 計	9,487名
高校 計	22,223名
合計 計	68,475名

酪農義塾 計 303名
酪農学校 計 *91,517名

* 出典酪農学園史2巻より

総合計 160,295名

地区支部の設置状況()は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区 :	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(0)
四国地区:	4支部(0)
九州地区:	8支部(0) 46支部(0)

同窓会開催報告

獣医9期生50周年同期会報告



「リラの花咲くけものみち」に触発され、変わってしまった建物とはともかく、懐かしい本館や白樺並木の雄大なキャンパスに思いをはせ、50年ぶりの大学に行ってみたい・・・こんな一言から

2025年10月28日(火)前日からの暴風雨がまだ残る中、遠くから駆けつけた第9期生の14名が黒沢記念講堂にて、卒後50周年記念礼拝を受けました。

恩師・故高橋清志先生のお嬢様である高橋優子獣医学群教授から獣医倫理学的詩編23編について教えを受けました。獣医師歴50年の中で、5つの自由を動物、社会、環境に分け与えられる存在であったかを今一度想起させられるお話でありました。

その後は学び舎の変貌ぶりを校友会副会長の中出先生に案内していただきました。在学当時の施設・教材とは雲泥の差とはいえ、学生時代のあれこれが飛び交いながらただただ驚嘆の連続でありました。

懇親会は野幌の街でということから、駅前のホテルリポーンで互いの近況、病気の話、薬の話、孫の話に花が咲きあつという間の時間。このまま、おとなしく寝るはずもなく、夜の野幌の街散策へと、懐かしい居酒屋コンパの話に花が咲き、当時はやり歌を思い出し、カラオケに興じるという一晩でした。

古希を超えたとはいえ、活力充分、病気を克服した者、今回来れなかった者も来年また会いましょうを合言葉に三々五々の10月29日でした。〔文責 阿部哲男〕

[illegible]

同期会短期大学Ⅱコース13期生報告



去る11月25日(火)「鹿児島サンロイヤルホテル」にて、短大Ⅱコース13回生の同窓会が開催されました。全国各地から同級生22名プラスその配偶者9名の31名でそれぞれの近況や思い出話で楽しく賑やかに盛り上がりました。

幹事の挨拶の後、今年亡くなった3名の同級生及びこれまでに亡くなった同級生の冥福を祈って黙とうを捧げ、その後、次の幹事を太田稔君、樺沢優君、伊藤満君にお願いし、快諾をいただきました。

次の幹事を代表して太田君に乾杯の音頭をとっていただき宴会がスタートしました。

酔いが進む前に一人一人近況報告をしていただき、ある人は昨年引き続き、ある人は8年ぶり、ある人は卒業以来という風に懐かしい顔との再会に話も弾みました。

また、鹿児島島の芋焼酎、黒糖焼酎、熊本の球磨焼酎の飲み比べも楽しんでいただきました。さらに、参加の皆さんから沢山の、本当に沢山のお菓子をいただいたので一人分ずつ小分けにして頂きました。

幹事の人一広瀬君の挨拶と一本締めで宴会は終了しましたが、部屋に集まって飲みながら旧交を温める人、タクシーを呼んで天文館に繰り出す元気な人、部屋に帰って眠る人など色々だったようです。

今回は夫婦で出席が9組と今までで最も多かったです。皆さん仕事の重圧から徐々に開放されてきて、自由に使える時間が増えて、長年連れ添った奥さん旦那さんの苦労を労い感謝し一緒に旅行を楽しみたいという気持ちが表れていた様に思います。

今回、初めての試みとしてマイクロバスをチャーターして薩摩半島南部の観光スポットを巡り、砂蒸し温泉で有名な指宿温泉に泊まる小旅行を計画しましたところ、参加された方々に喜んでいただけた様です。

最後に、今後とも体調管理に気を付けて、次の同窓会も楽しく賑やかにやりたいものです。

(文責 幹事 山下栄一、広瀬 計)



〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色: ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度 (白プリント)
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学: 研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校: 基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設: 旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、研修館周りのインフラ整備など

問合せ先: 事務局財務課 011-388-4148 (寄付担当)

酪農学園緑風会第19回講演会・総会・懇談会報告



昨年度に引き続き開催された酪農学園「緑風会」第19回講演会・総会・懇談会が、1月7日(水)午後5時から、旅館中村屋を会場に、同窓生教員 54名、学園関係者9名の総勢63名で盛会に行われた。

総会は近江勉会長の開会挨拶に続き、会長を議長に議事が進行した。総会次第により2024年度事業報告・会計報告・監査報告が事務局や監査から行われ、拍手で承認された。2025年度役員(案)、事業計画(案)、予算(案)については原案どおり承認された。

講演会は、「子実用トウモロコシ導入の経緯と今後の展望、学校教育に期待すること」をテーマに有限会社 柳原農場 取締役社長 柳原 孝二氏より講演が行われた。

引き続き開催された懇談会は、飛谷事務局長の司会進行により、西村博幸新会長より新年の挨拶が行われた。来賓挨拶では高島理事長、岩野学長からの挨拶が行われた。

学園関係者の来賓紹介ののち、野英二同窓会会長の乾杯が行われた。年に一度の懇談の場で和気藹々とした雰囲気の中で和やかな懇談が行われた。

最後に参与 二本浩志氏の万歳で締めめののちに閉会となった。(文責 飛谷淳一)



編集後記

2026年度も早半月が過ぎましたがいかがお過ごしでしょうか? 今年も年明け早々にいろいろと世情不安定な様相です。お年玉プレゼントの当選番号は同窓会だよりと同窓会HPに掲載してありますのでご確認をお願いします。昨年は37名の当選に対し、応募数が少ない状況でした。再度ご確認をお願いします。諸物価高騰の折ですがプレゼント内容は初回より大学酪農バター詰め合わせ3個セットを変えておりません。



酪農学園大学

ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

